

ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成

多発性骨髄腫領域におけるBCMA標的三重特異的抗体治療、その作用機序および副作用マネジメントに関する認知度の向上



本公募の概略

この公募では、多発性骨髄腫に関する医療従事者向けの医学教育プロジェクトの募集します



対象国

日本



対象疾患 / 目的

ファイザーは多発性骨髄腫の診断・治療・包括的ケア・社会的な治療環境のサポートに繋がる、医療従事者を対象にした医学教育プロジェクトをサポートしています。

締切日等 スケジュール

公募締切日: 2024年7月30日

審査結果通知: 2024年10月31日

助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2024年12月1日



助成額 / プロジェクト実行期間

1件あたりの上限額: 7,000,000円

プロジェクト実行期間: 2024年12月~2026年5月(18ヵ月)



I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 法人格を有した以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- プロジェクト/プログラムリードは申請を行う施設・団体の従業員や団体会員でなければなりません。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2024 年 6 月 19 日

公募対象疾患:

- 多発性骨髄腫(血液がん)

本公募の目的:

多発性骨髄腫はかつて予後不良な進行性疾患であり、長らく「不治の病」と考えられてきましたが、免疫調節薬、プロテアソーム阻害薬、抗 CD38 モノクローナル抗体薬の導入により、多発性骨髄腫の治療状況は大きく変化しました¹。しかしながら、これら3つのクラスの薬剤投与後に病勢が進行した患者の予後は依然として不良であり、特に3つのクラスの薬剤に難治性の多発性骨髄腫において、未だに十分な医療ニーズが満たされていないことが様々な医科学研究により示唆されています。

近年、悪性形質細胞で高い発現量を示す B 細胞成熟抗原(B-cell maturation antigen: BCMA)を標的とした、CAR-T 細胞療法や二重特異性抗体薬の免疫療法により、再発および難治性患者の治療選択肢が広がっています²。

その一方で、現在、新規の免疫療法、特に二重特異性抗体薬に関連した知識・情報・経験の不足が懸念されています。標準治療の策定および確立、副作用のマネジメント、最適な薬剤投与スケジュールなど、数々の課題の理解と対応が急務であり、特に専門家や医療従事者に対する継続的な医学的教育やトレーニングが必要です。また今後、患者に有益な治療方針やプロトコルの策定において、これらの領域に対する積極的な情報共有が必要となっています。

本公募では、再発および難治性の多発性骨髄腫に関連する、以下の課題に取り組む教育プロジェクトを募集します。これらはあくまで指針であり、下記の課題以外に該当する申請も歓迎します。

- 薬剤投与方法の最適化
- 入院治療から外来治療への移行方法
- 薬剤の有効性、投与量、副作用プロファイルなど臨床上有用なデータ
- 有害事象および関係性が疑われる危険因子の同定とマネジメント
- 多発性骨髄腫治療における二重特異性抗体の臨床的有用性
- 多発性骨髄腫治療への医療アクセスの改善

教育プロジェクトの形式はイベント、サテライトシンポジウム、ハンズオンセミナー、ワークショップ、オンラインコース、印刷物、デジタルツールなどが考えられます。

注意事項: 介入試験、臨床試験、非臨床試験、疫学分析などの研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また、COIの観点より、診療ガイドラインやガイダンスの作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他の多発性骨髄腫患者の検査・診断・治療・包括的ケア・社会的サポートに携わる医療従事者

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 7,000,000 円

スケジュール:

- 公募開始日: 2024年6月19日
- 公募締切日: 2024年7月30日 (アメリカ東部時間 23:59)
- 審査結果通知: 2024年10月31日
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- プロジェクトの実行期間: 2024年12月~2026年5月(18ヵ月)

申請方法:

- 応募は当社ウェブサイトから電子申請にて受け付けます。ファイザー米国本社のシステムより申請をお願いします。[Pfizer Cybergrants](#)
- 「申請ページ」より「Create your password」にアクセスし、メールアドレスの登録及びパスワードの取得を行ってください。手続き方法の詳細は「[登録手続ガイド](#)」を参照ください。
- 登録済みのメールアドレス/パスワードにて「Welcome Page」にログイン後、申請に必要な情報の入力、及び資料を添付してください。申請は全て英語で入力頂きます(添付資料のみ日本語可)。
- 申請方法の詳細は [Independent Medical Education Grants 申請の手引き](#) を参照してください。
 - 「Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?」の設問では「Yes」を選択してください。
 - 「Competitive Grant Program Name」では、今回応募した「2024 ONC JP: BCMA-Directed Bispecific Antibody Treatment in Multiple Myeloma」をプルダウンメニューから選択してください。

- Primary Area of Interest では「Oncology – Hematologic」を選択してください。
- Letter of Request/Agenda/Project Description (プロジェクト申請書)では、公募要項に記載されたプロジェクト申請書様式をご参照の上、書類を Word 等で作成し、アップロードしてください。**プロジェクト申請書のみ日本語での記載が可能です。**
- 注意: 申請ページでの不適切なカテゴリの選択、または申請期限を超過した場合、申請はいかなる理由でもお受けできません。

お問い合わせ:

- ファイザー株式会社 MEG-J 事務局 (meg.japan@pfizer.com) までメールにてお問い合わせください。
- お問い合わせの際、件名に「多発性骨髄腫領域に対する BCMA 標的三重特異的抗体治療、その作用機序および副作用マネジメントに関する認知度の向上」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、Pfizer International LLC と書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#) をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。
- 本公募はファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 助成金は申請施設の口座にのみ送金可能です。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス

- 1) James R. Berenson MSD マニュアル プロフェッショナル版 <https://www.msdmanuals.com/en-jp/professional/hematology-and-oncology/plasma-cell-disorders/multiple-myeloma>
- 2) 石田禎夫 多発性骨髄腫の将来の治療戦略 臨床血液 2022 年 63(6), 635-645.

ファイザー Global Medical Grants について

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内になされる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例: ベースラインから 10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。
 - 医薬品の購入
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、医薬品、テキスト・教科書の購入
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。